

シャンピニオン



作りかた

- 給水タンクに満水ラインまで水を入れてセットする。
- ボウルにAとドライイーストをふるい入れ、Bを加え、よく混せてひとまとめにする。
- 生地がべつかくなり、ボウルからくるんと離れるまでよくこね、台にたたきつけてのばしたり、半分に折って押したりしながら約15分こね、生地を丸める。



加熱の目安	使用付属品	カロリー	塩分
予熱：約10分 加熱：約38分	黒皿 下段 テーブルプレート	1393kcal	7.9g
1回に作れる分量	給水タンク 満水		
9個分			
材料			9個分
A 小麦粉(強力粉)		300g	
A 小麦粉(薄力粉)		70g	
A 砂糖		5g	
A 塩		8g	
ドライイースト		5g	
B ぬるま湯(約30℃)		210mL	
B レモン汁		6mL	

シャンピニオンのコツ

こねあげの生地の温度

25~27℃が最適です。夏場のように室温が高いときは、多少低めにします。

発酵温度は

シャンピニオンは35℃が基本です。生地の初温、季節、分量などによって温度（30~45℃（5℃単位））を使い分けます。

発酵の仕上がり具合は

イーストの種類や室温、季節によって多少違います。発酵不足の場合は様子を見ながら時間を追加してください。発酵途中で生地の表面が乾いているときは、スチームショットで水分を補ってください。

ベンチタイム中や予熱中に生地が乾燥しないように

生地表面が乾燥するとふくらみが悪くなります。ラップかかたく絞ったぬれぶきんをかけたり、表面に霧を吹きます。

生地の扱いはていねいに

手のひらでかるく扱います。ちぎったり、形が悪くてやり直したりするとふくらみが悪くなります。

手動調理で焼くときは

オープン 予熱有 1段 230℃ 29~36分 で予熱します。予熱終了音が鳴ったら、やけどに注意して、黒皿を下段に入れ加熱します。

4. バター（分量外）を薄く塗ったボウルに③を入れ、黒皿にのせて下段に入れスチームオーブン発酵 1段 35℃ 30～60分 で1次発酵をする。
5. 生地が2倍に発酵していれば十分。（指に小麦粉（分量外）をつけ、生地の中央を刺してみて、指の穴がそのまま残る状態。）
6. 打ち粉（強力粉・分量外）をしたのし台に、ボウルをふせて生地を取り出し、手でかるく押して中のガスを抜く。
7. 生地をスケッパー（または包丁）で9個（1個約67g）に切り分ける。手でちぎると生地が傷んでふくらみが悪くなる。
8. 生地のひとつひとつを手のひらか、のし台で表面がなめらかになるように丸め、ラップかかたく絞ったぬれぶきんをかけ、生地の温度が下がらないようにして約20分休ませる。（ベンチタイム）
9. 1個分の生地から約1/5を切り取って、それぞれ丸める。小さい生地をめん棒で4～5cmの円形にのばし、片面に強力粉（分量外）をふり、大きい生地の上に粉をふった面を下にしてのせたら、小さいはしの頭で押して、上の生地を中に食いこませる。
10. ⑨をバター（分量外）を薄く塗った黒皿に、⑦～⑨で成形した生地を閉じ口が下になるようにのせ、黒皿を下段に入れスチームオーブン発酵 1段 35℃ 20～40分 で2次発酵する。終了音が鳴ったら、発酵具合を確認し、2～2.5倍になれば、発酵は十分。発酵後、黒皿を取り出し159 シャンピニオンで予熱する。
11. 予熱をしている間、生地にラップか、かたく絞ったぬれぶきんをかけて室温で発酵させる。
12. 予熱終了音が鳴ったら、やけどに注意して、⑪を下段に入れ、加熱する。